

# おちあいだより

題字は、落合地区在住の三輪良子さんの和紙貼り絵です。



「おちあいだより」は、3ヶ月に1回発行します。地域のボランティア活動情報をお届けします。

新宿区社会福祉協議会は、お互いさまで支えあうまちづくりを目指して、住民の皆さまをはじめ、町会・自治会、学校、企業などとともに地域のつながりづくりに取り組んでいます。また、住民同士がさりげなく気遣いあい、困ったときに遠慮なく手助けを頼めるような地域づくり「ゆるやかな見守り」の支援を行っています。

今号では、落合地区で支えあいの活動を実践されている皆さんをご紹介します。

## 落合第一地区

長年に渡り「友愛活動」という地域の見守り活動を続け、「ゆるやかな見守り」を実践している上落合東部町会長寿会の皆さんにお話を伺いました。



お話からは、地域全体を包み込むように温かく見守っている様子がうかがえました。この活動を長く続けていくことができるよう社協も全力で応援していきます！

## 上落合東部町会長寿会

「見守り活動がうまくいく秘訣は、『構えないで、自然に声をかけること』。地域内では長寿会の会員のみならず、出会った方にはまめに声をかけています。そうすることで地域の中でよい関係を築いてきました。その人その人にあった適切な言葉づかいであるよう注意しています。

なかには『放っておいて』と拒む方もいます。そんな時は周りの住民でさりげなく気にしながら必要に応じて高齢者総合相談センターや社協に相談しています。いつか自分たちが見守られる側になることも気になってきました。若い人たちにも参加してもらえる方法を模索しています。」

うっわ

## 新サロン『器あうんの会』が始まりました

## 落合第二地区

落合第二地区では、今回新しく、自宅開放型のサロン『器あうんの会』が始まりました。近所には一人暮らしの方なども多く、一人で食事をとることが多いという話を聞き、それならうちでみんなで一緒にランチを食べよう、ということで始まったサロンです。

オープンの日には、顔なじみの方々だけでなく、初めて立ち寄る方や、おひとりの男性の方も来られ、総勢20名以上の方が参加しました。美味しい食事をとりながら参加者同士おしゃべりに花を咲かせたり、温かいコーヒーを飲みながらゆっくりしたり、皆さん自由に交流していました。

外出機会の少ない高齢者の方の居場所として、また、ゆるやかに見守りあいをすることができる、いきいき・ふれあいサロン活動が広がっています。社協では、このふれあい・いきいきサロンの立上げや運営を支援しています。



### 落合ボランティア・地域活動サポートコーナー

[場 所] 新宿区下落合4-6-7 落合第一特別出張所内

[開所時間] 月～金曜日 午前10時～午後5時

[TEL / FAX] 03-5996-9363



題字は、西新宿にお住まいの  
佐藤秋穂さんの作品です。



「よどばし」は、3ヶ月に1回発行します。

よどばし

新宿区社会福祉協議会は、お互いさまで支えあうまちづくりを目指して、住民の皆さまをはじめ、町会・自治会、学校、企業などとともに地域のつながりづくりに取り組んでいます。また、住民同士がさりげなく気遣いあい、困ったときに遠慮なく手助けを頼めるような地域づくり「ゆるやかな見守り」の支援を行っています。



今号では、柏木・角筈地区で支えあいの活動をしている皆さんを紹介します。

## 柏木地区 集合住宅でのゆるやかな見守り

柏木ハイツは、北新宿にある築40年以上のマンションです。長くお住まいの世帯と、短期間で入れ替わる世帯がある中で、お互いに気にかけてあって過ごしているそうです。管理組合理事の方々にお話しをうかがいました。



管理組合理事のみなさま

マンション内で、あいさつはするけれども、自分のことは話したくない人もいます。普段あいさつを交わす程度の方から、突然話しかけられたものの、何もして差し上げられなかったことがありました。自分は気づけなかったけれど、他の人が話を聞けば、もっと手を貸せたかもしれない。そのような経験をして、住民同士、情報共有をするようになりました。

あの方見かけないな、と思ったときには、他の人に尋ねてみる。「私は今朝会ったよ」と答えがあると安心できます。

お互いに他人の生活には立ち入ることはしないけれど、自分自身に何か起きたときには、マンションの誰かがかけつけてくれると思える信頼関係があります。私たちは同じ建物に住む大きな家族のようなもの。自然体でゆるやかに見守りを続けていけたらと思います。

## 角筈地区 「淀橋町会」婦人部の皆さんへ、ゆるやかな見守りのご協力をお願いしました。

淀橋町会は発足から62年の町会です。昨年6月、淀橋町会の婦人部の皆さまへ、社協地区担当より「ゆるやかな見守り」についてお話しする機会をいただきました。



淀橋町会婦人部のみなさま

参加者の方からは、井戸端会議のような場の中で、「最近、あの方見かけないわね」「体調が悪そう」と、気にかけているとお話してくださいました。また、今でも、ご近所同士のお互いさまの助け合いがあるとお話がありました。

いつもと違う、何かおかしいと感じたときは、社協や高齢者総合相談センターへのご連絡をお願いしたところ、「それなら、私にもできる」とご協力いただけることになりました。

昨年11月、淀橋町会内に地上60階建ての超高層マンションが完成しました。古くから住んでいる住民と、新たに転入してきた住民が交流できるイベントも行われ、地域の居場所づくりを検討する等、新たな地域の支えあいのまちづくりに取り組まれています。

